



平成28年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アルファ

コード番号 4760 URL <http://www.popalpha.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 浅野 薫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務部長

(氏名) 佐藤 靖夫

TEL 086-277-4511

四半期報告書提出予定日 平成28年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年8月期第1四半期の連結業績(平成27年9月1日～平成27年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年8月期第1四半期	2,028	—	119	—	117	—	70	—
27年8月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年8月期第1四半期 67百万円 (—%) 27年8月期第1四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
28年8月期第1四半期	8.78	—	—	—
27年8月期第1四半期	—	—	—	—

(注) 平成28年8月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年8月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円	百万円	円	%	円
28年8月期第1四半期	6,027	—	2,712	—	45.0	337.02
27年8月期	—	—	—	—	—	—

(参考) 自己資本 28年8月期第1四半期 2,712百万円 27年8月期 一百万円

(注) 平成28年8月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年8月期の数値は記載していません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	円	円	円	円
27年8月期	—	0.00	—	5.00	5.00
28年8月期	—	—	—	—	—
28年8月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年8月期の連結業績予想(平成27年9月1日～平成28年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
第2四半期(累計)	3,760	—	184	—	178	—	91	—	11.31
通期	7,220	—	152	—	142	—	60	—	7.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成28年8月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率及び対前年同四半期増減率については記載していません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、当第1四半期連結累計期間において、株式会社オーケー企画の株式取得による企業買収を行ったため、連結の範囲に含めております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年8月期1Q	9,154,442 株	27年8月期	9,154,442 株
28年8月期1Q	1,107,080 株	27年8月期	1,106,891 株
28年8月期1Q	8,047,456 株	27年8月期1Q	8,047,998 株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 2 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	2
4. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、円安株高傾向が継続する中、企業収益が回復し、個人所得も改善の兆しが一段と強まるなど、明るい動きが見られます。その一方、人手不足の慢性化、一部新興国の景気停滞懸念などもあり、先行きには不透明感も残っております。

このような環境の中、自社企画製品は、eコマース（オンラインショップ）を利用した受注増を実現するなどし、売上高は294百万円となりました。

別注製品は、採算性を重視した取引の選別は継続しておりますが、一部大口取引先での競争激化による受注の減少を補えなかったことなどがあり、売上高は955百万円となりました。

商品は、イベント商品や年末の装飾物、演出物の売上が比較的堅調だったことや、平成27年9月1日に完全子会社化した株式会社オーケー企画の売上が寄与したことなどがあり、売上高は778百万円となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,028百万円となりました。

一方損益面では、別注製品を中心に売上総利益率が引き続き改善傾向にあること、株式会社オーケー企画に対するのれんの償却が発生したこと、その他の販売費及び一般管理費を削減したことなどがあり、営業利益は119百万円、経常利益は117百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は70百万円となりました。

なお、当社グループは広告等販売促進用品の企画・製作及び販売等を行う事業の単一セグメントのため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は3,688百万円となりました。その主な内訳は現金及び預金1,586百万円、受取手形及び売掛金1,387百万円、商品及び製品539百万円であります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は2,338百万円となりました。その主な内訳は建物（純額）249百万円、土地1,059百万円、のれん164百万円、退職給付に係る資産325百万円であります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は2,355百万円となりました。その主な内訳は支払手形及び買掛金1,007百万円、短期借入金600百万円、1年内返済予定の長期借入金125百万円であります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は960百万円となりました。その主な内訳は長期借入金425百万円、役員退職慰労引当金435百万円であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は2,712百万円となりました。その主な内訳は資本金409百万円、資本剰余金417百万円、利益剰余金1,923百万円、自己株式△263百万円、退職給付に係る調整累計額158百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成27年10月14日に公表した業績予想に変更はありません

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結会計期間より、株式会社オーケー企画の株式取得による企業買収を行ったため、四半期連結財務諸表を作成しております。なお、連結の範囲に含まれる子会社の数は同社及び株式会社エー・エス・エープランニングの2社であります。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間
(平成27年11月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,586,304
受取手形及び売掛金	1,387,223
商品及び製品	539,217
仕掛品	36,260
原材料及び貯蔵品	2,329
その他	140,142
貸倒引当金	△2,503
流動資産合計	3,688,974
固定資産	
有形固定資産	
建物(純額)	249,686
土地	1,059,336
その他(純額)	76,712
有形固定資産合計	1,385,735
無形固定資産	
のれん	164,048
その他	99,258
無形固定資産合計	263,307
投資その他の資産	
退職給付に係る資産	325,556
その他	372,625
貸倒引当金	△8,611
投資その他の資産合計	689,570
固定資産合計	2,338,613
資産合計	6,027,587
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	1,007,448
短期借入金	600,000
1年内返済予定の長期借入金	125,482
未払法人税等	77,155
賞与引当金	5,900
その他	539,133
流動負債合計	2,355,119
固定負債	
長期借入金	425,966
退職給付に係る負債	1,086
役員退職慰労引当金	435,925
その他	97,342
固定負債合計	960,320
負債合計	3,315,440
純資産の部	
株主資本	
資本金	409,796
資本剰余金	417,733
利益剰余金	1,923,366
自己株式	△263,082
株主資本合計	2,487,813
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	66,122
退職給付に係る調整累計額	158,211
その他の包括利益累計額合計	224,334
純資産合計	2,712,147
負債純資産合計	6,027,587

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位: 千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成27年11月30日)
売上高	2,028,312
売上原価	1,240,392
売上総利益	787,920
販売費及び一般管理費	668,843
営業利益	119,076
営業外収益	
受取利息及び配当金	63
還付消費税等	2,655
為替差益	404
その他	1,137
営業外収益合計	4,260
営業外費用	
支払利息	3,976
支払保証料	1,419
その他	523
営業外費用合計	5,918
経常利益	117,417
特別利益	
固定資産売却益	24
特別利益合計	24
特別損失	
固定資産売却損	303
特別損失合計	303
税金等調整前四半期純利益	117,139
法人税、住民税及び事業税	74,131
法人税等調整額	△27,637
法人税等合計	46,494
四半期純利益	70,645
親会社株主に帰属する四半期純利益	70,645

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位: 千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年9月1日 至 平成27年11月30日)
四半期純利益	70,645
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	1,960
退職給付に係る調整額	△4,799
その他の包括利益合計	△2,839
四半期包括利益	67,805
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	67,805
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは広告等販売促進用品の企画・製作及び販売等を行う事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。